

~きっと見つかる子どもたちへのメッセージ~



平成26年度 鳥取県PTA研究大会 『子どもたちの未来へ夢を紡ぎ心を育てる』 単位PTA活動の実践と絆で結ぶPTA』



パネルディスカッション

平成26年11月24日(月)、湯梨浜町八ワイアロハホールにおいて、平成26年度鳥取県PTA研究大会が、上記のスローガンのもと開催され、強風にも関わらず約三〇〇名の参加がありました。

まず「PTAによる子どもへの生活リズム向上促進事業」発表で北栄町立北条中学校PTAが「ノーマニア」推進への取り組みとして、生徒自身が企画開発したことを、また米子市立福生東小学校保護者と先生の会は、ノーマニアの企画実施に伴い標語を募り優秀作品はのぼりを製作し啓発に役立てていることを、それぞれ報告しました。

今回の研究大会は、インターネット上のマナーや家庭でのルール作りの重要性を周知するため行われている文部科学省委託事業「ネットモラルキャラバン隊」との共催で開催しました。まず、文部科学省スポーツ・青少年局青少年課長の泉潤さんが「子供スマホやインターネットをめぐる問題に関する取り組み〜安全・安心な利用のために〜」と題して取り組みの説明を行われました。

次に、「青少年のインターネット利用の現状と安心・安全な利用環境整備のための取り組み」をテーマに、総務省中国総合通信局情報通信部電気通信事業課長の篠原昇さんがお話をされました。

そして、ネット教育アナリスト尾花紀子さんの基調講演では、「ネット社会の子育て(こ)心(こ)体(こ)将来(こ)の安全を考える」PTAが知っておきたい、気をつけたいこと、今すぐできること、をテーマにお話しいただきました。

持ち歩ける多種多様なイ

永遠に進化し続けるネットを賢く安全・健全に使うには

今後、私たちがサイバー犯罪に遭うリスクは高まりこそすれ、減少することはありません。安全な利活用を続けるには、個々の人の危機管理の意識が不可欠です。

危機管理 (ポイント)

常に実験中という覚悟で、注意を怠らない!

- ① どんな時でも、インターネットの構造上の特徴を意識しながら利用
- ② そもそも情報共有が前提のSNS、プライバシー保護への過信は禁物
- ③ アップ&ダウンロード前に一呼吸、客観的に安全性を考えることも大切

「スマホやタブレットは諸刃の剣」と考え、気を緩めず規範意識をもって使えるように。

規範意識 (ポイント)

判断力、責任力、自制力をしっかり身に付ける

- ① 匿名でも追跡できる! 軽はずみな言動で一生を台無しにしないで!!
- ② 善人にも悪人にも便利なネット、だから「メリット」と「リスク」は常にベア
- ③ 成長に合った安全な環境を与え、考えながら使うことで経験を積み重ねる

未来は変えられる! 望まない未来を歩まないために、大人が真剣に向き合いましょ。

ンターネット端末ですが、子どもたちが巻き込まれるトラブルはいずれの機器でも起きており、それらから子どもを守る必要が生じてきています。また、健康への影響として、特に睡眠不足による成長ホルモンの分泌減少は、成長期の子どもの心身からできるだけ避けたいところです。危険が多いインターネット端末ですが、デジタル機器が不可欠な社会を子ども

もたちは、自分の力で歩まないといけないのも事実です。だからこそ「安全」に「状況」に応じて「正しく」使う習慣を身に付けることが大切です。操作も用語も分からないから大変だと思われるかもしれませんが、少しでも早く取り組みれば、苦勞や心配事は必ず少なくなります。「じゃあ、どうしたらいいの?」という疑問を解消する知恵やポイントを、具体例を交えてお話しいただきました。

次に、「会話から対話へ」をテーマに、日本PTA全国協議会元会長の曾我邦彦さんをコーディネーターとして、講師の尾花さん、事業説明をいただいた泉さん、工藤陽介さん(デジタルアーツ(株))、井上洋子(鳥取県PTA協議会会長)をパネリストに交えたパネルディスカッションが行われました。

インターネットの使用にあたっては、大人が一方的に押し付けるのも、子どもの言いなりも「NG」。本音で話し合いながらルールを考え、自制心と安全に使える力を養っていきましょう。

もたちは、自分の力で歩まないといけないのも事実です。だからこそ「安全」に「状況」に応じて「正しく」使う習慣を身に付けることが大切です。操作も用語も分からないから大変だと思われるかもしれませんが、少しでも早く取り組みれば、苦勞や心配事は必ず少なくなります。「じゃあ、どうしたらいいの?」という疑問を解消する知恵やポイントを、具体例を交えてお話しいただきました。

祝 文部科学大臣表彰等受賞

平成26年11月19日(水)、ホテルニューオータニ東京において日本PTA年次表彰式が開催され、三朝中学校PTAが平成26年度優良PTA文部科学大臣表彰及び日本PTA全国協議会会長表彰を受けました。これは、三朝中学校PTAが会員相互の繋がりはもとより先生方や地域の皆さんと連携し、子どもたちの健全な成長を力強くサポートしてきた歴史が評価されたものだと思います。従来よりLINE問題等の会員研修、親子食育教室や街頭指導のほか広報紙でも表彰されるなど委員会活動も積極的に行われています。さらに最近では、文化祭でのPTAコーラスや運動会でのPTAリレー、三朝町駅伝やキュー祭のパレード等地域行事への参加など、子どもたちと同じ舞台で子どもたちと一緒に楽しい思い出を作る活動にも果敢にチャレンジしています。この受賞を受け12月3日(水)に吉田三朝町長をはじめ歴代のPTA会長のご出席もいただき、表彰受賞記念祝賀会をプランナールみささで行ないました。思い出話で盛り上がりましたが、最後に「これからも地域の皆さんと連携しあいながら三朝中学校PTAとして子どもたちを応援していこう」という決意を誓い合いました。

(三朝中学校PTA会長 塩谷 俊樹)



表彰式にて 受賞おめでとうございます!!

優良PTA文部科学大臣表彰受賞	北栄町立北条小学校PTA、三朝町立三朝中学校PTA
キャリア教育優良PTA文部科学大臣表彰受賞	鳥取市立西中学校教育振興会
日本PTA全国協議会会長表彰受賞(団体)	八頭町立船岡小学校PTA、三朝町立三朝中学校PTA
日本PTA全国協議会会長表彰受賞(個人)	増田裕子様(前県PTA協議会副会長) 門脇誠二様(県PTA協議会理事) 青木一憲様(前県PTA協議会監事) 金津唯可様(前県PTA協議会ブロック理事)

とっとり 県PTA広報

平成27年2月28日 72号

CONTENTS

このロゴマークは八咫鳥PTAの中本優紀さんのデザインによるものです

- [P1] ・県P研究大会報告
・日P表彰関係報告
- [P2] ・教育予算に関する要望
・土曜授業報告
- [P3] ・中国ブロック研究大会報告
・中学校統合
- [P4] ・手話学習報告
・ちょっとひといき
・お知らせ
・編集後記

編集・発行
鳥取県PTA協議会

事務局
〒680-0846 鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/

知事・教育長に県教育関係予算に関する要望書を提出

平成 26 年 12 月 12 日鳥取県 PTA 協議会は「平成27年度鳥取県教育予算等に関する要望」を鳥取県・県教育委員会に対して行いました。当日は公務でお忙しい中、平井伸治知事・山本仁志教育長に時間を割いていただき、当協議会井上会長・山代副会長・浅雄事務局長の三人で直接要望書を手渡し、その内容につき意見を交わす機会をいただきました。当日は終始和やかな中にも真剣に意見を交わすことができました。当協議会は鳥取県・県教育委員会といっその連携を図り鳥取県の教育の充実・進展と子どもたちの健全な育成のために共に歩んで行くことを確認しました。今回の要望に対しては後日正式に文書で返答をいただくことになっています。以下に要望内容の概要を記載します。（鳥取県 PTA 協議会副会長 山代 豊）



平井知事(左)に要望書を手渡す井上会長(右)



山本教育長(左)に要望書を手渡す井上会長(中央)と山代副会長(右)

いじめ・不登校などの対策についてなど6項目

要望項目 1

抜本的な教員・職員の増員、少人数学級の継続について

教員の多忙感の解消のため、加配による対応ではなく定数の改善による抜本的な対応を要望します。また事務的作業を行うサポート職の配置など環境の改善により教員が子どもたちと向かい合える時間を多く確保できるよう、子育て王国鳥取として積極的に取り組んでいただくよう要望します。

要望項目 2

いじめ・不登校などの対策について

早期発見、早期対応のためにも本務教員の増員配置や、スクールカウンセラー、相談員を有効に活用できるような体制づくりを要望します。また、保護者の仲間作りを支援する「子育て親育ちプログラム」ファシリテーターについても、養成及び派遣について引き続き取り組んでいただくよう要望します。

要望項目 3

メディア（ケータイ・インターネット）の利用について

電子メディアの発達著しく、保護者にとって子どもたちの使う端末機器の操作・知識等の習得が困難になっており、保護者・子どもともに早い時期からの情報モラル教育が必要です。教育カリキュラムの拡充や、ペアレンタルコントロールの啓発活動などPTAと連携して取り組んでいただくよう要望します。

要望項目 4

障がい認知と継続支援について

障がいを持つ子どもとその保護者への支援体制づくりや、進路指導・相談の早期着手のために、早期の障がい認知が必要です。そのための啓発活動を継続して取り組んでいただき、早くから将来の見通しを持ちながら勉強に励むことができるよう要望します。同時に、保護者や地域、企業への障がい理解への更なる取組を要望します。

要望項目 5

土曜授業について

土曜授業については、県内でもいくつかの取組が始まっており、県PTAとしても動向に注視しているところですが、そのコンセプトが明確に伝わってこないところがあります。積極的な情報の提供をお願いするとともに、成果を明確に示していただくよう要望します。

要望項目 6

学校防災計画について

各学校で、学校防災計画、対応マニュアルが作成されているところですが、今後はすぐにでも起こりえる可能性の高い災害に対応できるよう、保護者や地域に周知し、避難訓練等を通して、より実効性のあるものとなるよう市町村教育委員会に働きかけていただくことを要望します。

「今年度からスタート!!」倉吉市小・中学校の土曜授業



倉吉市小・中学校では、今年度（26年度）から土曜授業がスタートしました。中学校は5月から年5回（5月・7月・9月・11月・1月）、小学校は9月から年3回（9月・11月・1月）行われました。午前中3時間の土曜授業です。この土曜授業の日は、保護者や地域への公開日にもなっています。土曜授業の内容は、倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成を目的に、『ふるさと学習』が軸になっています。（倉吉市小P連 会長 荒瀧美由紀）



小学校では

地域の方々の協力を得ながら、地域の歴史や文化・自然について、体験を通しながら学び、同時に地域の方々と交流も図られています。

主な取り組みは…

- ・ 地域のお寺に歩いて行き、住職による地域に伝わる昔話を聞く
- ・ 地域の年配の方々に教えてもらいながら昔からの遊びをいっしょに楽しむ
- ・ 災害が起こったときどうするかを学習する防災教育
- ・ マラソン大会、2分の1成人式などの学校行事を行う

中学校では

中学校では、教育委員会で作成された『くらし風土記～倉吉学入門～』等を活用し、学習をしています。また、学力補充とともに、自分の進路を意識し、進路を実現するための学力を身につけるキャリア教育などを行っています。

主な取り組みは…

- ・ ゆかりあるゲストティーチャーを活用して「くらし風土記」で学習
- ・ ふるさと発見ウォークラリー
- ・ ふるさとの伝統文化を学ぶ
- ・ 進路学習

保護者の感想

保護者の方々の感想を聞くと、教科の学習をすると思っていたという方が結構おられました。内容がまだしっかり認知されていないと感じました。

参加された地域の方は、「地域全体で学校を支える良いきっかけになる。」「地域のことをあまりよく知らない子どもたちに、教える機会があるのはよいことだ。」などと述べておられました。

子どもたちは、「地元のことをよくわかってよかった。」「最初はたいがいなと思ったけど、みんなといっしょに普段とちがう活動ができて、楽しかった。」といった感想がありました。しかし土曜授業があることで、子どもたちも先生も疲れが出ているという声もあり、また来年度は小学校7年5回の実施となります。来年度以降も継続される土曜授業が、有意義な取り組みとなるよう願っています。

ふるさとへの想いに涙し 子どもに考えさせる事の 大切さを知った!

第44回 中国ブロックPTA研究大会 岡山県玉野市大会

第44回

中国ブロック PTA研究大会 岡山県玉野市大会

平成26年11月8日(土)玉野市総合体育館を会場に、第44回中国ブロックPTA研究大会岡山県玉野市大会(主催:中国ブロックPTA協議会 岡山県PTA連合会)が「共に育てよう 夢と希望とやさしい心 子どもたちの未来のために」を大会スローガンに掲げ、盛大に開催されました。中国ブロック各県から約二千四百名のPTA会員が一堂に会して、事例発表や記念講演に耳を傾けました。概要を報告させていただきます。(鳥取県PTA協議会 監事 垣本 雅史)

実践発表

○スマートフォン・ゲームの夜間利用制限について

全国学力・学習状況調査でここ数年、急速な変化がある項目が1日当たりのスマホ・ゲームの時間です。中学生では3時間以上が急増しています。無料ゲームの影響も大きく、歯止めが効かないひとつの要因となっています。

また、SNS(※注)の長時間の利用やLINEなどでのネットいじめなどのトラブルに巻き込まれる子どもも増えています。

このような状況の中で、岡山県教委では、県PTA連合会等と連携して、「21時以降は保護者がスマホを預かる」「ゲームも21時まで」「スマホなどのつきあい方を学校で考える場を設定する」の3つの取り組みを推進されています。この中で「みんながさうなので」「うちにはルールがある」ということで歯止めがかけやすくなったと報告されていました。

アトラクション

音楽とトーク
「テーマ」輝いて生きる



ハイマー・ヤンジンさん

「夢は 実現するためにある」
【講師】声楽家 ハイマー ヤンジンさん

「チベット民謡」と「日本唱歌」を交えながら、結婚して移り住んだ「日本」、ふるさと「チベット」、そして家族への思いを語られました。

チベットではとても貧しかった。両親は文字が読めなかったことでだまされて土地を取られた。「せめて文字が読めるように」と子どもたちを学校に行かせたいと思ったそうです。ヤンジンさんは兄弟の支援もあり大学まで行くことができました。大学ではひどいじめを受けましたが、見事首席で卒業されました。日本ではチベットにはない炊飯器、洗濯機に感動され、「日本は天国のよう」「皆さんは天国にいることを存じてしよっか!」と私たちに問いかけられました。

義理の母親から「今の日本ができたのは教育のおかげ」と聞いたことで、「チベットの村に学校を作ろう」と思い、時給のバイトから始めて、15年で10校の学校を創ることができたそうです。日本で学んだことをチベットに返していきたいと語られていました。

最後の歌は「ふるさと」でした。ヤンジンさんから、日本人が忘れていた何かを覚えてもらったような気がして、涙をこらえることができませんでした。

記念講演

「テーマ」菊地流・魅力的な人生のススメ

【講師】弁護士 菊地 幸夫さん
平日は自治体の法律顧問、大学の講義でバタバタ、土曜日は犬の



菊地 幸夫 弁護士

散歩と小学生のバレーの監督と地元密着の生活をされています。大学生と小学生を比較して話された内容が興味深かったです。大学生は男の子がおとなしい。裁判のようにどちらが勝つかわからない問題では悩んで考えて欲しいが、ぼーっとして人の顔を見ていて考えてなく、答えを待っている。どうやって考えたら自分なりの答えが出るかに興味無く、答えを書き写すことに興味がある。大人になつたらいろいろな問題にぶち当たるので、自分で考えないとけないのに。小学生はいろいろな事を言ってくる。「シャンプー使っているの」と聞いてくる。これは素晴らしい。好奇心が出てきて、放っておけなくて、聞いてみたくなる。「スパーリッチを使うている」と答えると、親に「監督はシャンプーはスパーリッチを使ってるんだって。本当かな?」と聞いてみる。「そんなの嘘に決まってるでしょ」と言われ、やっと答えにたどり着く。これが「本当の勉強」ー受験用の知識だけでは本当の勉強ではない。子どもには、自分で考えさせる事が大事なんですね。

智頭中地元の杉で新築中!

旧校舎の老朽化に伴う智頭中学校の新築工事が27年3月の完成を目指し着々と進んでいます。ほぼ町内産の木材を使用し木の心地よさと温もりを感じることができる校舎となる予定です。町内の方に寄贈して頂いた樹齢130年の杉丸太を24本使用した玄関周りは圧巻です。近くに来られる事があれば是非お立ち寄りください。(智頭中学校 PTA 副会長 萩原直樹)



新築中の智頭中

自慢の玄関

中学校統合

ビフォー・アフター

千代南中統合2年目 学校・地域・家庭が1つになった学校づくり

千代南中学校は、旧佐治中学校と用瀬中学校が統合してできた2年目の学校です。統合前のそれぞれの中学校では、生徒数の減少に伴い、部活動等も合同で行われるような状態でした。また、大きな学校ではあたりまえのように行われているクラス替えもなく、限られた人間関係の中で刺激の少ない学校生活を送っていました。そんな子ども達も、統合によって勉強や部活動で競い合う心が芽生え、それが励みになっているようで、とてもたくましくなり、こういう機会も必要だったんだなあとしみじみ感じます。

統合にあたっては、校名・校訓・校章・校歌・

通学方法などを決めるための統合準備会議が、平成23年12月から、平成25年2月までの間に14回行われました。また、当時の両校のPTAの皆さんにお世話になり、通学靴や靴などの指定物品の決定を行いました。

とてもうれしかったのは、両校のPTAの声かけにより募金活動が行われ、当初の目標金額の3.5倍もの支援金が集まったことです。そのおかげで部活動に必要なユニフォームなどが揃い、子どもたちのためにという力の大きさを感ずります。保護者や地域の皆さまと学校とのつながりは深まり、子ども達の感謝の心もはっきり育っています。

現在、千代南中学校では、学校・地域・家庭がひとつになった学校づくりをめざしています。お世話になった皆さま、本当におりがとうございました。(鳥取市立千代南中学校 母親委員長 中村 小百合)



千代南中フォーラムでの記念写真

新「八頭中」今春統合 みんなで創る 地域とつながる

八頭中学校は、平成27年4月、「中央中学校」「八東中学校」「船岡中学校」の3校を統合し、新中学校として開設されます。場所は、鳥取県の東部に位置する八頭郡八頭町郡家、現在の中央中学校の位置になります。

「みんなで創る 地域とつながる 新「八頭中」」を合い言葉に、学校、地域、保護者みんなで着々と準備を進めています。新「八頭中学校」は、次世代をなす生徒の健全育成をめざし、ICT教育の推進や多様な学習方法が展開できる環境の整備に力を入れていきます。これらの教育環境のもとで、人間性豊かな生徒の育成と、新しい校風づくりに取り組み、町民の方から慕われ、愛される学校づくりをめざします。

生徒数も、1年生170名、2年生167名、3年生183名の合計520名となり、

現校舎では教室数が足りないため、新たに3階建(6教室)の校舎を増築しました。また、ランチルームも改築し1・2階ともに利用可能にしました。ランチルームで、520名が一堂に会し給食を食べる様子は壮観なものでしょう。

通学については、距離が2km未満の生徒は徒歩、2km以上6km未満の生徒については自転車、6km以上の生徒はすべてスクールバスとなります。また、冬場には、3kmから6kmの生徒に対して安全面を考慮し、全員がスクールバスでの通学となります。さらには、土曜日、日曜日、長期休業中における部活動についてもスクールバスの運行が決まっています。

これらの恵まれた環境のもと、「毎日、行きたくなる学校」づくりをめざし学校、保護者みんなで頑張っていきます。(八頭町立中央中学校 PTA 会長 山本幸男)



